

2016 年度 第 5 回 CPC 研究会

日 時: 10 月 28 日 (金) 13:30 ~ 16:30

会 場: 連合会館 201 会議室

(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11 TEL: 03-3253-1771)

参加費: 維持会員・大学官公庁関係 = 無料 / 非会員 = 20,000 円

<http://cpc-society.org/>

13:30 ~ 14:55

「等方性ピッチ系炭素繊維とその原料としてのコールタールピッチ」

大阪ガスケミカル株式会社 貴傳名 甲 氏

- 1) 等方性ピッチ系炭素繊維の概要
- 2) ドナカーボのご紹介、ドナカーボの物性
- 3) 原料ピッチのなりたち、ピッチの物性・分析

大阪ガスケミカルでは、等方性コールタールピッチを原料とした炭素繊維ドナカーボを製造しています。本講演では、まずドナカーボの特徴や用途、ならびにドナカーボの最近の物性解析事例として熱処理に伴う構造と物理特性に関するデータをご紹介します。また、ドナカーボの原料となる等方性コールタールピッチに関して、石炭を原料としたときのピッチのなりたち、炭素繊維製造工程と関連するピッチの物性と分析事例を述べます。

15:05 ~ 16:30

「カーボン表面と触媒作用 ~カーボンアロイ触媒研究の現状~」

群馬大学理工学府 尾崎 純一 氏

- 1) カーボン材料と触媒
- 2) 固体高分子形燃料電池用カソード触媒
- 3) 水電解用カソード触媒
- 4) 塩基触媒
- 5) 触媒担体としてのカーボンアロイ
- 6) 総括と展望

触媒はその表面に反応分子を吸着させ、そこで原子の組み換えを行う材料です。従来は遷移金属が触媒として用いられて来ましたが、カーボン材料は、従来これらの金属触媒を担持する担体としての役割を担ってきました。これらに対し、我々は燃料電池のカソード反応を触媒する白金の代わりとなりうるカーボン材料を見出し、これらをカーボンアロイ触媒と名づけました。本講演では、燃料電池用カーボンアロイ触媒と、他の反応に対するカーボン触媒に関する研究の現状をご紹介します。

CPC 研究会 講演会事務局 行 e-mail: sec@cpc-society.org または FAX: 029-861-8712
10 月 28 日の研究会に出席します(連合会館 201 会議室)

お名前: 維持会員 非会員 大学関係

ご所属:

Tel:

Fax:

E-mail: